

社会科学習指導案

平成30年9月12日(水) 第4校時 2年D組教室
 授業学級 2年D組(40名)
 授業者
 指導教諭

1 単元名 「江戸幕府の滅亡」(2年)

2 主眼

徳川家によって絶大な権力を誇っていた幕府が、開国からわずか数年で権威が失墜し、戦争に負けた場面で、尊王攘夷の動きや幕府の動きに着目し、資料「戊辰戦争」「王政復古の号令」などを読み取ることを通して、外国勢力の力に屈した薩摩と長州藩が尊王攘夷派から倒幕派に転向し、天皇中心の政治体制に戻すため欧米の武器を用いて幕府と戊辰戦争を行い、それに勝利したことで江戸幕府の滅亡がわかるだけでなく、幕府敗北の裏には徳川慶喜が時代の転換期において日本がどのような姿であるべきかを描き、それが幕府滅亡にもつながったことが分かる。

3 本時の位置(全6時間中 第6時)

前時:江戸時代の身分制国家から一揆、打ちこわしと「ええじゃないか」の心情を考える

次時:なし

4 本時の評価基準

外国勢力の力に屈した薩摩と長州藩が尊王攘夷派から倒幕派に転向し、天皇中心の政治体制に戻すため欧米の武器を用いて幕府と戊辰戦争を行い、それに勝利したことで江戸幕府の滅亡がわかるだけでなく、幕府敗北の裏には徳川慶喜が時代の転換期において日本がどのような姿であるべきかを描き、それが幕府滅亡にもつながったことが分かる。

5 展開

段階	学習活動	予想される生徒の反応	◇教師の指導・援助	時間	備考
問題把握	1 資料を読み取り、学習問題を設定する。	ア 幕府の権威ってすごかったと思うし、今見てもすごいわ。 イ 幕府の権威が失墜している。 ウ なんで開国してすぐ幕府の権威が失墜し、戦争に負けたのか。	◇資料1、2を幕府の権威が圧倒的なものから失墜したことを確認させる。 ◇ウのような発言を全体に位置付け、学習問題を設定する。	5分	導線1「アケル」
	2 学習に対する予想を立てて発表し、追究の「見通し」を持つ。	学習問題:なぜ幕府は滅亡したのか エ 尊王攘夷派の人たちが幕府のことを嫌ったから。 オ 幕府が下手な政治を行ったから カ 大政奉還を行ったから。	◇ワークシートを配付し、学習問題に対する予想を記入し、発表するように促す。 ◇エ、カのように尊王攘夷の動きや幕府の行った大政奉還に着目し発言している生徒の意見を学習問題に反映させる。	10分	ワークシート
追究	3 予想に基づいて資料を読み取りわかったことを発表する。	キ 資料1,2から薩摩と長州は外国勢力に負け、尊王攘夷派から倒幕派へと変わり、欧米の武器を手に入れたことが分かる。 ク 資料3,4から倒幕派と幕府軍の政権上の戦いがついに実践的な戦争へと突入したことが分かる。 ケ 資料5,6から慶喜は時代の転換期において死者を出して国の力が弱くなることを避けたのではないか。また兵庫が開港されていたから、おおきな戦争になると、外国に日本が荒らされたかもしれないね。	◇資料1~6を配付し、資料から読み取れることをワークシートに書くように促す。 ◇机間指導を行い、それぞれの資料をどのように読み取っているのかを確認しながら、指名計画を立てる。 ◇戊辰戦争による幕府の終幕は王政復古の号令などの政治上の応酬が前提としてあったことを理解し、慶喜の真意を自分なりに分析したり、外国からの圧力と結び付けて発言している生徒の意見を全体に共有しつつ板書する。	25分	資料1「薩英戦争と下関戦争」 資料2「薩長同盟」 資料3「大政奉還と王政復古の号令」 資料4「戊辰戦争」 資料5「慶喜が描く未来」 資料6「慶喜に見る負けの美学」
	4 今日の学習を振り返り、分かったことをまとめる。	本時の評価基準に達しなかった生徒への手だて。 ① 慶喜が負け続けた真意がわからない生徒には明治維新での死者数を関連させる。 ② 兵庫県の開港場の意味がわからない生徒には、京都には天皇がいて、外国人が京都の町に行きたいという記述が残っていることを紹介する。 コ 江戸幕府の滅亡は薩摩、長州の倒幕派による活躍が大きいだけでなく、慶喜の考えも幕府の滅亡につながっていたんだね。 サ 開国し、天皇中心の政治を目指した結果、これから先の日本はどのような方向に進んでいくのだろうか	◇授業を振り返りわかったことをワークシートに記入し、発表するように促す。 ◇サのように、約700年前に行われていた天皇中心の政治体制にもどった日本の政治は、今後どのような方向に進んでいくのかについて言及している生徒の意見を全体に反映させて終了する	10分	

6 反省